

12/19〔木〕

地域づくり協議会交流会 団体間の親睦を深め、大きく成長

平成25年12月19日(木)、上毛町地域づくり協議会交流会が「いぶきの里」で開催され、協議会役員をはじめ、地域づくり活動団体の代表者など、25名が参加しました。

まず、山下会長から「地域づくり活動団体間の横の繋がりを広げ、今後も楽しく活動しましょう」と挨拶がありました。福本副会長の乾杯の挨拶の後、団体の枠を超えて情報交換を行い、今後の活動について、語り合い大変有意義な会となりました。

これからも協議会メンバー同志が連携し、協力しながら大きく成長できるように、交流会を開催して、親睦を深めていきたいです。



2/21〔金〕

地域コミュニティ活動事例報告会 福岡県内のコミュニティ活動の現状を学ぶ

2月21日(金)に地域でコミュニティ活動をされている方を対象とした「地域コミュニティ活動事例報告会」が福岡県庁で開催され、地域づくり協議会から役員5名が参加しました。この報告会は、県内の地域づくり活動の取組事例を聞き、情報交換をしながら交流を深め、地元へ情報を持ち帰り今後の地域活動に役立てて行くことを目的に、年に1回開催されています。

本年は、住民自治や協働のまちづくりを専門に県内各地で活動している熊本県立大学総合管理学部の明石照久氏により、今回の事例報告会開催に係る趣旨説明から始まり、福岡県内の3地区の事例報告がありました。

事例報告では、福岡市からは「若い目から見た自治会活動」と題して、若い世代の自治会離れが進んでいる現在、みんなが楽しく参加できる自治会を目指した取り組みについて報告がありました。続いて宗像市からは、「正助さんの寺小屋の取り組み」と題して、地域の子どものための学習会である「正助さんの寺小屋」の実施を通じて地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組んでいることについて報告がありました。最後に岡垣町からは、「孤独死・孤立死を出さない見守り体制の構築に向けて」と題して、町から孤独死・孤立死を出さないことを目指し、高齢者人口がピークに達する10年先を見

据え、全町的な取り組みとして、自治区を活動単位とし、自治区と民生委員が連携した見守りの基礎システムの構築の取り組みについて報告がありました。

それぞれの地域の課題解決に向け、実情に応じたコミュニティ活動が実践されていました。これらの地域同様に上毛町も、少子高齢化や過疎化、地域経済の疲弊などの課題を抱えています。一方、豊かな自然や歴史、伝統文化に育まれた地域の宝があり、多くの方々がこれらを受け継ぐために様々な分野で活躍されています。今回の研修は、地域の課題や誇りを見つめ直し、個性を活かした町づくりを考えるための参考になりました。



12/5〔木〕

筑紫野市「まちレンジャー養成塾」の方々が 地域づくり協議会「いぶきの里」を視察

平成25年12月5日(木)、筑紫野市から「まちレンジャー養成塾」講師と塾生の皆さん20名が、「いぶきの里」に視察研修に訪れました。

筑紫野市は、住民自らが地域の課題を見つけ、課題解決に向けた活動計画の立案やそれに基づいた実践活動を学ぶ「まちレンジャー養成塾」を開校し、7か所のコミュニティセンターを中心としたまちづくり構想を計画。この構想は、市民協働の新しいまちづくりを目指しています。今回は、上毛町コミュニティ計画の策定から現在の地域づくり活動について、地域活動団体の生の声を聞きながら学ぶことを目的に訪問されました。

午前中は、上毛町の概要と上毛町コミュニティ計画の策定から地域づくり活動事業の始まった流れについて、企画情報課担当者が説明しました。

午後からは、はじめに会長の山下朗さんが協議会の「住んで良かったと思える上毛町を町民の力で次世代に引き継ごう」という基本理念に基づく組織の目標や協議会での取組み内容などについて説明しました。特に「協議会ができたことで、若者たちとの交流の場が増え、たくさん意見を出し合い、色々なイベントに共に参加するようになりました。そうすることで、若者たちの考え方や見方が変わり、上毛町のために一緒になって動きは始めていること」を強調しました。また、会計の村上さんから協議会の組織構成や財政運営などについて説明しました。

続いて、地域づくり活動団体の活動内容について紹介しました。紹介は、地域づくり協議会役員を

代表して、「下唐原地域おこし会」の宮本さんと「築上東music-lovers」の貴村さんが行いました。宮本さんは、集落内の役割分担を明確にし、環境美化活動や花壇づくりなど「集落を単位とした地域づくり」を実践していることについて紹介しました。また、貴村さんは、今年で10回目の開催となった定期演奏会や巣雁コンサートなど地域の方々の協力によって成功している音楽活動を通じて、地域の交流の場の創出していることを紹介しました。

視察を終えた「まちレンジャー養成塾」からは、「若者から年配者まで地域づくりに興味がある人たちが参加しやすい環境である」「小さな町であるにもかかわらずたくさんの事業を展開し、エネルギーを感じた」などの感想をいただきました。



住んで良かったと思える上毛町を住民の力で次世代に引き継ごう
上毛町地域づくり協議会だより